事例No.	1445
公表年度	R3
団体の属性	中核市
団体名	大阪府八尾市

事例区分	一般行政

タグ	・公共施設活用 ・教育・子育て ・福祉・介護

事例種類	木材利用・普及啓発

事例内容・タイトル

公共施設における木材利用

出典

森林環境譲与税の令和２年度取組事例集（令和３年１２月）

大阪府　八尾市（公共施設における木材利用）

- 都市部に位置している八尾市では、森林環境譲与税を活用し、公共施設における木材の利用促進を図っていく方針。市が整備する公共建築物においては、可能な限り木材の利用を促進し、市民の目に触れる機会が多いものを中心に木製品の導入に努める。
- 令和２年度においては、以下の取組により、公共施設の木材利用促進を行った。
  - 国産の木材を活用し、八尾市立認定こども園で実施する一時預かり事業用の備品等を設置した。
  - 子育て世代包括支援センターの機能の充実を図るため、八尾市保健センター内の相談スペースに設置する机、椅子、パーテーションを国産木材で整備した。

□　事業内容

公共施設の木質化

- 公立認定こども園の木質化

【事　業　費】2,479千円（全額譲与税）

【実　　績】 木材の利用を促進するため、令和３年度から実施する八尾市立認定こども園の一時預かり事業で使用する備品等を、国産木材で整備した。（子ども机、子ども椅子、ベビーベッド、ままごと遊び用ちゃぶ台、木製おもちゃ、棚、タオル掛け）

- 保健センターの木質化

【事　業　費】1,184千円（全額譲与税）

【実　　績】妊婦から出産、育児までのさまざまな相談支援を行う相談スペースにおいて、国産材を利用したテーブル、いす、パーテーションを設置し、市民等に対し、木材利用の啓発を図った。（テーブル3台　いす６脚　パーテーション８基）



（公立認定こども園の木質化）



（保健センターの木質化）

□　事業スキーム

- 公共施設（八尾市立認定こども園、八尾市保健センター）において、木材を利用することにより、木材利用の普及啓発、需要拡大に努める。

□　工夫・留意した点

- 0歳～5歳の子どもが利用するため、年齢に応じた備品を国産材で整備し、木のぬくもりとやわらかさを感じてもらえるものとした。
- 木のぬくもりとやわらかさを感じてもらいながら、リラックスした雰囲気のなかで、ゆったりと相談を行えるスペースになるように考慮した。

◇　基礎データ

①令和２年度譲与額	21,792千円
②私有林人工林面積（※１）	96ha
③林野率（※２）	12%
④人口（※３）	268,800人
⑤林業就業者数（※３）	0人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、
※２：「2015農林業センサス」より、※３：「H27年国勢調査」より